

# 社会科教育論 課題1

～「説明」型の授業計画案づくり～



授業名「モンゴルの襲来」

教育学部初等教育教員養成コース 4年

川島寿基 (B124336)

# 本時の目標



モンゴル帝国の日本侵略の目的を当時の国際状況を踏まえて捉え、国際的な文化・経済の交流が成立するしくみについて理解する。

授業においては元が日本を征服できなかった原因や元が日本に襲来した目的を捉えることを通して、モンゴル襲来の歴史的意義を、

①日本の歴史、②東アジアの歴史、③国際的な歴史の3つの視点から説明できるようにする。

# 導入



## 1. 小学校で学んだ既習事項の復習

元とはどのような国家か？ 元寇とは？ なぜ失敗した？

## 2. 揺さぶり

事実①文永の役は初冬に起こっている(旧暦10月)

→ 台風が来る時期だろうか？

事実②元軍の圧倒的戦力(文永の役が3万人、弘安の役が14万人)

→ 日本の3倍以上の戦力。負けることなどありえるだろうか？

## 3. 「今日の目標」の設定

**元寇とはなんだったのか？ その真実に迫ろう！**

# 展開①

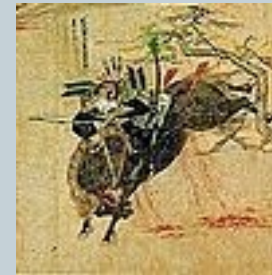
## 1. 「なぜ元は日本を征服できなかったのだろうか？」

- 資料や年表から元軍の主力は高麗や南宋の人々だったことに気づき、彼らは元に対して協力的ではなかったことを考察する

1259年	高麗がモンゴル帝国に降伏
1274年	文永の役(元・高麗軍=3万人)
1279年	南宋がモンゴル帝国によって滅亡
1281年	弘安の役(元・高麗・南宋軍=14万人)

- 既習事項である「御恩と奉公」の関係から、日本の御家人たちの奮闘も確かにあったことを考察する

【参考】「蒙古襲来絵詞」 御家人・竹崎季長の活躍

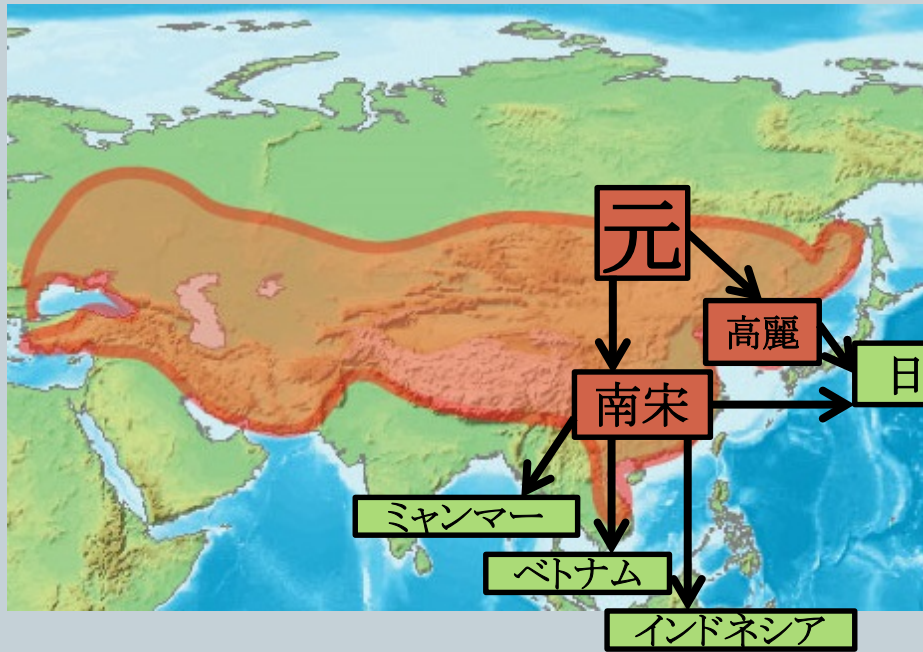


⇒元寇失敗の背景には両国軍の戦闘意欲の差があった  
(モンゴルがそもそも陸地での戦いを得意としていたことや、  
本当に暴風雨が起こった可能性があることも指摘)

# 展開②



## 2. 「なぜ元は日本に襲来したのだろうか？」



実はフビライ=ハンは日本だけでなく  
東南アジア地域の征服も目指していた



### フビライの大きな目的

広大なユーラシアの全域における  
大流通システムの構築

【参考】 マルコ=ポーロ『東方見聞録』  
駅伝制、ムスリム商人の活躍

⇒日本を侵略することで日本と宋の貿易関係を支配し、  
海の交易ルートをも手に入れようと考えていた

# 終結



この過程を  
最重要視

## 1. 本時の学習を3つの視点から説明する

(生徒各自が個人で考え、発表によって全体で交流する)

### 元寇とは何だったのか？

- ①日本の歴史から見て : 「御恩と奉公」によって国を守り抜いた
- ②東アジアの歴史から見て : モンゴルによる中国支配(朝貢体制に代わる新たな秩序)
- ③国際的な歴史から見て : モンゴル支配の中で経済・文化が交流、発達

## 2. 国際交流を促進するしくみについて考察する

広大なモンゴル帝国による支配が、

結果的に国際的な経済・文化の交流と発達につながった。

【参考】 徳川家康による全国統一 → 経済・文化の発達

⇒でもそこには「侵略」「武力」があり、多くの犠牲があった。

現代社会に生きる私たちはどのように国際交流を進めていくべきだろうか？

# 本時の構造



- 2つの問いを中心に「元寇」を取り巻く諸要素を分析・検証  
「なぜ元は日本を征服できなかったのだろうか?」「なぜ元は日本に襲来したのだろうか?」
- 日本、東アジア、世界という3段階の視点で「元寇」を説明

世界：国際的な経済・文化の交流と発達

東アジア：元による新たな秩序

ユーラシア世界



南宋  
高麗

日本：御恩と奉公

執権  
北條時宗

御家人

- 「国際交流」をキーワードに、本時の学習を現代社会に応用  
→ 公民的資質の育成につながる

# 板書計画

元寇とは何だったのか？その真実に迫ろう！

「なぜ元は日本を征服できなかったのだろうか？」

元軍＝侵略した南宋と高麗の人々が中心

日本軍＝「御恩と奉公」恩賞がほしい御家人

⇒元寇失敗の背景には

両国軍のやる気の差があった！

「なぜ元は日本に襲来したのだろうか？」

広大なユーラシア大陸を支配したモンゴル帝国  
(フビライ＝ハンが狙っていた地域は

日本、ベトナム、ミャンマー、インドネシアなど)  
モンゴル帝国の支配のもとで経済と文化が発展

⇒日本を侵略することで海の交易ルートをも

手に入れようと考えていた！

元寇とは何だったのか？(私の考え)

【日本の歴史から見て】

・  
・  
・

【東アジアの歴史から見て】

・  
・  
・

【世界の歴史から見て】

・  
・  
・

まとめ

広大なモンゴル帝国は国際的な経済・文化の  
交流と発達を目指し、東アジアを支配。

こうした背景から起こった元寇は御家人の「奉公」  
などによって退けられた。

また、授業において配布する資料によって、スライドに載せたものと同様の資料を示す。



# 参考文献など



- ・ 『詳説日本史 改訂版』 (2010、山川出版社)
- ・ 『山川 詳説日本史図録』 (2010、山川出版社)
- ・ 『新詳 世界史B』 (2010、帝国書院)
- ・ 『最新世界史図説タペストリー』 (2009、帝国書院)

※このほか、白須浄真先生の「世界史概説Ⅰ」の講義を参考させていただきました。